

鎌ヶ谷市 市民活動推進センター だより



ぶらり鎌ヶ谷

(詳細は4頁に掲載)



目次

ぶらり鎌ヶ谷 (写真紹介)	p 1
鎌ヶ谷市身体障がい者福祉会 (団体紹介)	p 2
NPO法人 鎌ヶ谷たんぽぽクラブ 小宮 裕子氏 (人物紹介)	p 3
世界をよくする 100 の方法 (図書紹介)	p 3
助成金情報 (お知らせ)	p 4
イベントの協賛金を集めるには？ (Q&A)	p 4

鎌ヶ谷市身体障がい者福祉会

《代 表 者》 鮫島 亘
《所 在 地》 〒273-0124 鎌ヶ谷市中央
2-5-39
《連 絡 先》 TEL 047-444-3363
FAX 047-444-3363



【活動の目的は？】

身体障がい者相互の親睦と啓発、福祉の向上を図るとともに身体障がい者の権利と生活を守り、社会への参加を目的としています。

【活動テーマ】

- ①関係法令等の各対象者への早期徹底
- ②会員の福祉増進に関する事業
- ③会員の各種相談に対する問題の処理
- ④会の文化的向上に必要な事業
- ⑤会の発展に必要と認める各種団体との連携強化

【組織の概要及び活動内容】

年1回の総会、毎月1回の理事会を開いています。当福祉会の活動には4部2会があり、それぞれが主体になって行っています。会全体としては、日帰り研修旅行を実施し、夏祭り、ふれあい冬祭り、まなびいフェスタ等に参加しています。それぞれの会の主な活動内容は次のとおりです。

- ① わかば会（視覚障がい者対象）
昭和57年発足、会員14名、協力会員10名
定例会、バスハイク、訓練事業、料理教室、ダンス教室などを開催
- ② PC会（パソコンの会）
会員7名、協力会員4名
音声パソコンで文書作成やネットに挑戦中
- ③ カラオケ部
東初富公民館で月2回、12名程度参加
- ④ ハーモニカ部
会員8名、協力会員1名
月2回、年1回発表会、慈祐苑慰問など実施
- ⑤ ボウリング部
会員15名、年3回開催、県大会予選に参加
- ⑥ 広報部
「身障者だより」を年4回発行

⑦ その他

- * 鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子の5市による芸能大会
- * 千葉県イベントである東葛スポーツ大会と福祉大会等に参加

【活動に至った経緯は？】

52年前、身体障がい者に対する差別や偏見をなくすため、同じ境遇にある仲間が一致団結し、会を立ち上げました。

【実績・成果】

- ① 4部2会の努力で、会員間の親睦の輪が広まり、福祉増進に寄与していること
- ② 130名程の会員が一つになり、相互の親睦と啓発、福祉の向上、生活と権利の保護及び社会への参加という目的にまい進していること

【アピールポイントは？】

会員が障がい者というハンディを乗り越えて、「お互いに助け合い、お互いができることを、できるところまで成し遂げる」という意識が共有化されているところがアピールポイントだと思います。

【今後の方向性、展開】

- ① 広報部での人材など、新しい会員の募集
- ② 健常者との交流を通じ、協力者の増強
- ③ 会の目的を達成するために、事業活動の充実と行政や他団体との交流をさらに深めていくこと





地域で活動する人物紹介

NPO法人

鎌ヶ谷たんぽぽクラブ

代表 小宮 裕子氏



◆ 活動を始めた動機 ◆

当時松戸つくし特別支援学校高等部 2 年生だった長男のために、卒業後の進路として少人数制で支援員の心配りが行き届く家庭的な雰囲気のある作業所が近くにほしいと願ったのが始まりでした。

◆ 今後の「夢」 ◆

活動が広がるにつれ、障がい児・者ご本人の障がい判明したその時から、その方が人生を全うする時まで、地域で自立した生活が営めるよう一貫した支援体制を整えていくことをめざそうと思うようになりました。弱者の権利擁護のため、相談支援に応じられるような組織創りをめざしたいです。また、人が人間らしく生きるためには、「仕事の間（地域活動支援センター）」と「休息の間（グループホーム・ケアホーム）」と「遊びの間」が必要だと考えます。障がい者・児も同じです。今後、彼らが心行くまで楽しめる「遊びの間」を創りたいと思っています。

◆ 現在活動している内容 ◆

- ① 日中一時支援事業…
利用登録者数約 80 名
- ② 地域活動支援センター
たんぽぽハウス…利用者 13 名
(平成 23 年度 9 月 1 日現在)
- ③ 共同生活援助・共同生介護…
利用者 9 名
- ④ 成年後見人制度啓発事業…
平成 23 年度全 7 回講演会実施

図書の紹介

世界をよくする
100 の方法

著 者 齊藤 慎
発行者 野間佐和子
発行所 株式会社 講談社

「世界をよくしたい」なんて声高に言うのは大仰すぎると萎縮したり、そんなことを言うのはかえって無責任だと感じる人がいるかもしれません。また、自分ひとりが何かしたからといって世界が変わるなんてありえない、と思うかもしれません。

「毎日の行動の一つひとつを見直し、よりよい選択肢を選ぶことで、世界をよい方向に変えていく。」こうした一人ひとりの意思をも社会貢献と呼べるはずだと、私は思います。社会貢献は大きな組織や、多額のお金が必要なのではありません。

今日では、一人ひとりが別々にそうした行為に取り組むにとどまらず、ウェブという世界を使って、どんどんその輪をひろげていくことができるわけです。そうした一人ひとりの「世界をよくしたい」という意思と、そこから発せられる行為が社会貢献なのです。

この本で紹介するさまざまな行為や考え方には、とても些細で簡単にできることもあれば、ちょっとしたお金

◆ 活動経歴 ◆

平成 16 年 12 月
鎌ヶ谷市内に障がい者小規模福祉作業所立ち上げをめざし任意団体「たんぽぽクラブ」を発足。
平成 17 年 11 月 7 日
NPO 法人格取得。
平成 18 年 4 月 1 日
東初富 2 丁目に小規模福祉作業所「たんぽぽハウス」創設。
平成 19 年 3 月 1 日
障がい児・者の保護者の療養または就労支援等を目的とし「たんぽぽハウス」にて日中一時支援事業開始。
平成 19 年 4 月 1 日
小規模福祉作業所から障害者自立支援法に基づき地域活動支援センターに移行。
平成 21 年 1 月 1 日
東鎌ヶ谷 3 丁目に障がい者ケアホーム「my ペアホーム鎌ヶ谷」開設。
平成 22 年 11 月
協働モデル事業として提案した「成年後見人制度啓発事業」採択決定。
平成 23 年 5 月 1 日
東初富 4 丁目に地域活動支援センター「たんぽぽハウス 2 号」を増設。
平成 23 年 6 月 1 日
鎌ヶ谷 3 丁目にケアホーム 2 号店「my ペアホーム鎌ヶ谷 II」を設立。
平成 23 年 6 月 22 日より「成年後見人制度啓発事業」スタート。

◆ これから始める人へひと言 ◆

出来ない理由をあげればきりがないので心から湧き上がる己の情熱の声に耳を傾け、まずは一歩踏み出すことが大事だと思います。

と人脈、スキルとエネルギーが必要になりそうなこともあります。それを実践する人々のプロフィールも、大物セレブから市井の人までさまざまです。でも、その背後に「希望の伝播」という願いが宿っていることを忘れないでください。このキーワードでつながれているかぎり、有名人であれ、私たちを分断するものではありません。ひとりだけでは小さな変化にすぎませんが、みなでやれば大きな潮流になるはずです。ひとりの小さな行為や思いが、世界を変えていきます。まず、気に入ったアクションの一つを選び、実行してみてください。



お知らせ

助成金情報

＜青色防犯パトロール用車両購入資金助成＞

○助成対象事業…「青色回転灯を自動車に装着して適性に自主防犯パトロールを実施することができる団体であることの証明書」を所持している NPO 法人及びボランティア団体です。

○助 成 金 額…上限 130 万円、補助率は事業費総額の 80%以内とします。

主な経費は、青色回転灯装備の軽自動車（新車）の購入代金及び日本財団指定の車両塗装経費とします。※購入時諸費用のうち任意保険、ガソリン代は対象外です。

○受 付 期 間…平成 23 年 10 月 3 日～平成 23 年 10 月 31 日まで（31 日必着）

○申 込 方 法…インターネット申請のみにになります。

○問い合わせ先…公益財団法人 日本財団

〒107-8404 東京都港区赤坂 1 丁目 2 番 2 号日本財団ビル

総 合 案 内 TEL : 03-6229-5111 FAX : 03-6229-5110



詳しくは
下記の URL から
ホームページを
ご覧ください。



Q&A イベントの協賛金を集めるには？

<http://www.nippon-foundation.or.jp/>

Q. いつも同じ人ばかりに声を掛けていてはと思うのですが、誰にどういった形で依頼したらよいのでしょうか？

A. イベントの内容を伝えるチラシやポスター、団体活動内容を知らせるリーフレットを作成することはもちろん、より多くの人たちにイベントを知ってもらえるようにタウン誌を活用する等、広報の手段も工夫しましょう。協賛金の依頼をするには「顔の見える範囲」をこえて、人的ネットワークを活用することが大切です。

また、協賛金一口の額の設定にも留意しましょう。小額にして多くの人からの協賛金を得るのか、少人数で大きな額に設定するのかを事業内容にも配慮して決めましょう。団体・企業の金額と個人の金額を区別化するのもよいでしょう。

（「NPO なんでもどこでも相談 100 問 100 答」より）

．．☆．．写真の説明．．☆．．

私たち「ぶらり鎌ケ谷」はウォーキング活動を始めてから 3 年目を迎え、ほぼ鎌ケ谷市を一巡しました。そこで得た知識や感激を、鎌ケ谷の未来を担う子供たちにも紹介したいとの思いで、市民活動推進課、文化スポーツ振興課の協力を得て、今回の企画を開催しました。参加してくれた小学生は、4～6 年生で、下総小金中野牧跡の座学、貝柄山公園の馬のブロンズ像、とっこめ、野馬土手、郷土資料館を、話を聞きながら見学し歩きましたが、自分の家があるところも昔は馬が走りまわっていたと想像すると感激だったようです。「ぶらり鎌ケ谷」では、これからも郷土を再発見してもらい、鎌ケ谷を住みよくしたいと思う仲間作りのために活動を続けたいと考えています。また子供たちのための企画も行いたいと思いますので、ご期待下さい。皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

ぶらり鎌ケ谷代表 上開地 真理男

市民公益活動相談日 原則毎週月・金曜日

（市民公益活動相談員 須貝）

編集後記
市民活動を行っている団体・人物の活動分野は、徐々に拡大の傾向にあります。それとともに、活動の形態も法人格を得た団体だけでなく、任意の集まりで、大きく・立派に組織運営をされている団体が少なくありません。本センターだよりでは、前号から「NPO 団体紹介」スペースで、任意の団体紹介をさせていただいております。鎌ケ谷市市民活動推進センターは、市民活動を行うすべての団体を支援させていただくところです。ご遠慮なくお越しいただき、忌憚のない意見交換ができれば幸いです。今後ともよろしくお願い申し上げます。

発行者・所在地 鎌ケ谷市市民活動推進センター 鎌ケ谷市富岡 2-6-1 生涯学習推進センター（まなびいプラザ）1 階
TEL / FAX 047-401-0891 / 047-401-0892
URL / e-mail <http://www.collabo-kamagaya.jp/> / sikatu@city.kamagaya.chiba.jp